

議 事 概 要

-
-
- 1 会議名** 第6回 長野都市圏総合都市交通計画委員会
- 2 日 時** 平成30年2月5日(月) 14:30~16:30
- 3 場 所** 長野県庁議会棟第1特別会議室
- 4 出席者** 学識経験者：久保田委員長、高瀬委員、藤居委員、益山委員、柳沢委員
国土交通省：越智委員(代)、新階委員(代)、猪股委員、川崎委員、近藤委員(代)、吉見委員(代)、松本委員(代)
長野県：玉井委員(代)、下里委員(代)、臼田委員(代)、藤池委員、辰野委員(代)
市 町：橋本委員、滝沢委員、小嶋委員、山崎委員、洞田委員、畔上委員、松木委員(代)、森委員
交通事業者：荒井委員、井原委員、倉島委員(代)、長澤委員(代)
- 5 資 料**
- ・ 次第
 - ・ 座席表、出席者名簿
 - ・ 資料1 第6回長野都市圏総合都市交通計画委員会 経緯ほか説明資料
 - ・ 資料2 第6回長野都市圏総合都市交通計画委員会 長野都市圏の新たな交通計画(案)
 - ・ 参考資料1 第6回長野都市圏総合都市交通計画委員会 参考資料



質疑応答

1. 開 会

2. 議 事

(1) 新しい長野都市圏総合都市交通計画（案）について

資料1について

・意見なし

資料2 基本的な考え方について

- | | |
|------------|--|
| 久保田
委員長 | ・交通計画の根底の考え方について、公共交通の「利用促進」と「手段転換」は意味合いが重複するところがあるように感じる。
・本日最後に、改めて意見をいただきたい。 |
| 事務局 | ・意味合いとしては重複している部分があるが、より公共交通を使ってもらうことを前提としているため、分けて記載している。 |

資料2 「人々の暮らしの足をまもる、支え合う」について

- | | |
|----------------|---|
| 柳沢委員
(長野高専) | ・将来の予測結果からみた公共交通利用者の増加について、拠点づくりの具体的なケースをしっかりと示すとわかりやすい。どのような具体施策をイメージし、予測モデルにどのように反映したかが分かると良い。また、乗り換えの抵抗を軽減も、拠点によって効果も変わると考えられる。どの拠点で乗り換えの抵抗の軽減があるのか等、具体的な施策と効果的な場所を示すと良い。 |
| 事務局 | ・予測の条件は、文章で簡単に予測ケースとあわせて記載している。
・公共交通については、サービスを相当高めた条件で予測しており、いわば最大限得られる期待値と言える。ご指摘の通り、場所によっては効果が上がらないことも想定される。 |
| 柳沢委員
(長野高専) | ・参考資料等で、現実的な場所や効果が期待できる場所を示すと良い。結果によっては、別案の検討も可能となるのではないか。 |
| 高瀬委員
(信州大学) | ・「人々の暮らしの足をまもる、支えあう」とあるが、「支えあう」について記載が不十分であるように感じる。支え合いの具体的な施策が必要ではないか。
・公共交通について、末端交通としてタクシーを考慮すべきではないか。デマンドタクシー以外の施策も考えては。
・パークアンドライドについて、上今井駅を取り上げているが、運賃の関係で隣の市町へ行ってしまいうことも危惧される。鉄道間で需要を取り合うのではなく、各自治体が自駅の需要を考える施策が必要ではないか。 |
| 事務局 | ・「支えあう」については、公共交通を使って支えることを意識して組み立てた。
・タクシーについては、いろいろな取り組みが考えられるので、今後内容について検討したい。
・パークアンドライドについては、鉄道需要の取り合いも考えられるので、今後は設置場所の考え方等も含め検討したい。 |
| 高瀬委員
(信州大学) | ・支えあうについて、地域に住んでいる人に支えあうという意識を持ってもらうことが大切であり、考慮すべき。 |
| 柳沢委員
(長野高専) | ・パークアンドライドの取り組みについては、予測モデルを作って検証してはどうか。鉄道間の競合で乗客の取り合いが生じる可能性があり、モデルで他の路線との取り合いも含めて検討してはどうか。
・公共交通について、利用者を増やすという観点でサービスを検証しているが、人口減少する中で利用者を増やすのは難しい。公共交通があることで、利用者の生活の質が維持・向上される視点も大切である。質の視点からも論じてはどうか。 |
| 久保田 | ・貨客混載は、利用者を増やすこともさることながら、今あるものを守って |

委員長	利用していく意味もある。質の観点からの記述も必要である。
資料2 「資産を活用し拠点とネットワークからなるまちへ変える」について	
川崎委員 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の料金施策について、どのように考えるのか。公共交通の料金を変えることでパークアンドライドやロードプライシングの効果が変わってくると考えられる。極端な事を言えば、公共交通の料金を無料にすれば丹波島橋の渋滞が無くなるかもしれない。料金施策について、もう少し踏み込むべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・料金施策については、どこまで表現するかを含め検討する。 ・アンケート調査では料金を下げた際の行動パターンについて質問していないが、料金を下げることでどのくらいの効果があるか、確認する。
川崎委員 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なシミュレーションでよい。例えば、パークアンドライドの利用料金として100円+燃料費が自動車の一般化費用として、公共交通料金を比較し安い方を選択する条件でシミュレーションを行うことも考えられる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から、自動車利用に関する費用について示す必要性についても指摘をいただいている。 ・環境面だけでなく、年間維持費含め、どのくらいの影響があるか試算をする。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・HOVレーンの具体的な区間を提案しているが、長野市の公共交通網形成計画や新交通システムの導入検討の中では、公共交通の幹線軸として位置付けている。さらに、丹波島橋から真田線交差部付近までは高いレベルの南北基幹軸としている。 ・丹波島橋の緩和に向けてHOVレーン化して自動車を意識する施策があげられたが、公共交通の軸としての位置付けは維持すべきだと考える。 ・パークアンドライド駐車場は、大まかな候補地を示すだけでなく、パーソントリップ調査結果を活用したモデルで可能性のある場所を検討してはどうか。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波島橋については、「混雑が著しい」とあるが、バス専用レーン導入により定時性を確保し、自動車に我慢してもらう考えであれば、問題とはなり得ない。多くの人がバスへ転換し、バスがスムーズに走行しているのであれば問題ではない。 ・しかし、HOVレーンを提案しているということは、バスの利用が少ない又は、バスの便数が少なく第1車線が無駄になっていると考えているのではないか。バス専用レーンをHOVレーン化すべき理由を示すべき。 ・その上で、HOVレーンを実施した場合、バスの走行を阻害しないのかどうかについても、確認する必要がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の計画では、なるべく具体的な施策や場所をあげて検討したいと考えている。 ・高瀬委員の指摘にもあったが、小布施町から長野市へ行くには小布施橋を渡って豊野駅に行った方が鉄道料金が安いという例もある。各市町と幹事を構成して検討しており、具体的な箇所を示した検討を行いたい。 ・基幹的なバスについては、長野市の意見もお聞かせいただきたい。 ・計画の表現についても、効果が「期待できる」という表現ではなく「やっていきたい」という想いを込めた記述にしたい。 ・丹波島橋の朝のバス交通は、1時間に23本くらいしか走っていないとも聞いており、第1車線が使われていない時間帯もある。 ・バスの定時性は当然確保するが、HOVレーンについては県警とも相談しながら検討する。今後、社会実験を含めて空いている時間を活用できないか、具体的に検討する。
橋本委員 (長野市)	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市では、新交通システムについてH24年に検討した。長期的にLRTを見据える中で、中期的にはBRTということで、引き続き現在は研究を進めている。 ・新交通システムとは別の話であるが、バス運転手が不足しており、将来的にも厳しい状況であると聞いている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・課題である丹波島橋、長野大橋の渋滞対策について、バス専用レーンを活用し、輸送力の高いBRTや接続バスの整備などは、公共交通への乗り換え促進の考えからも重要であると考えている。 ・この計画ではBRT等の具体的な文言はないが、新交通システムについても検討に加えてもらいたい。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・文言として計画に入れても良いということか。
橋本委員 (長野市)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容は事務局と相談することになるが、公共交通の乗り換え促進の考えからも、計画の中に加えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・記載の内容については、長野市と改めて調整する。第2回の際はガイドウェイバスを検討した経緯もある。BRTについても、エリアを絞った形で既存道路への実施検討になると思うが、検討していく。
高瀬委員 (信州大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波島橋の混雑緩和については、並行する長野大橋を利用した分散は考えられないか。朝の時間帯の混雑は長野大橋の方が時間的には短いと想定される。長野市の丹波島からICを抜ける道が整備されてから交通が丹波島橋に転換されるようになったが、長野大橋を渡る方が早いと思う。 ・情報提供による分散などの考えはないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・予測結果では、現状で丹波島橋をはじめとして混雑が残る結果になっている。 ・長野大橋は交通容量が大きく、バス専用レーンもない。しかし、丹波島橋の利用交通をみるとほとんどが長野市内々交通であり、中心部へ向かう交通が大半を示す。今回の資料には載せていないが、川中島地区の方が中心部に向かう際に、丹波島橋が最短経路となるため、利用が多いようだ。川中島地区の方へのバス利用転換施策や情報提供など、具体的に考えたい。 ・情報提供は大事であるため、情報提供が利用できる施策についても関係者と検討していく。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波島橋を渡った方が、長野大橋を回るよりも早いと考えるドライバーが多い。均等に分散させるためには、追加的な施策が必要である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・川中島周辺のバス利用を便利にすると目的に応じた公共交通への転換ができる想定されることから、もう少し分析する。
益山委員 (松本大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗りの促進について、具体的にどのような施策が考えられるか。今回のPT調査で、相乗りに関する住民の意向は把握したのか。 ・相乗りしても良いという意識があるのであれば、促進するためにどのようなインセンティブを考えているのか。計画では補助やポイント制度と記載しているが、もう少し具体的でない意識が変わらない。例えば、長野市内及び近辺の企業に協力してもらい、通勤者に対し相乗りの意識を高めるような、企業内または企業間での協働の仕組みがあると良い。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のPT調査では、相乗りの意識については調査していない。 ・PT調査の結果から一人で乗っている実態が確認でき、相乗り促進を施策にあげている。今後の展開として考えられるため、このような表現で記載している。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今から20～25年前に相乗りについて調べたことがあるが、通勤相乗りはアメリカでは盛んであるが、日本で実施する場合、通勤手当や事故が起きた時の保険など、難しい問題も多くなかなか実施に至らない。 ・時代も変わっているが、多少踏み込んで検討しなければ実現は難しい。 ・HOVレーンについても調べたことがあり、当時は2か所で実験もしくは実施例があったように記憶している。違反したときの取り締まり方など、こちらも難しい問題がある。 ・相乗りやHOVレーンは昔から議論されているが実現例が少ないことから、考え方等をレビューし、技術的な施策に絞った議論をした方が良い。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線バスルートの候補案があげられているが、路線が集中する箇所のみならず、広域的なバスルートや拠点間の移動を考えたルートを示す必要がある。また、各市町の公共交通網形成計画や連携計画等で位置づけられる、幹線なども考慮しておくべき。

白田委員代理 (道路建設課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードプライシングの試算について、枠組みなども示す必要がある。どこで料金を取るのか等、他の道路との関係も示して、実現性は難しいと思うが、法的にも可能かどうかも含めて、記載する必要がある。 ・道路整備については、構想道路に関する内容が最初に記載されているが、現在の事業などを含む幹線道路の整備が最初にくるべきではないか。幹線道路網の図について、国道 18 号バイパスなど精査が必要である。
久保田 委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、国交省の資料にもロードプライシングという文言が出てくるようになってきたが、法的にはまだ言及がないため、コラム的に示した方が良い。 ・幹線道路の整備については、今後表現を見直す。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の見直しについては、どのような意図で記載しているか。見直しでは、長期未着手の見直しなどが考えられるが、その旨の記載が計画の中に無いので、精査が必要である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定してから年数が経過し、機能も変化してきている。今回、混雑度の推計をするにあたり、各市町の都市計画道路を見直した結果を反映しているが、計画中に記載が無いため表現は修正する。 ・構想道路については、第 2 回時にも記載しており、整備効果も期待できる道路である。渡河部の機能強化等も関係し、市町の期待も大きく内部で検討し整備が必要だという整理をしたいと考えている。 ・幹線道路網図については、精査、修正する。

資料 2 観光ネットワークをつくる

新階委員代理 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・PT 調査は圏域内の住民の行動を聞いているため、外部の行動パターンを把握することは難しいと承知しているが、国としては訪日外国人の観光客数について 1.5 倍増の目標値を示しており、対応を考える必要がある。 ・外国人は手段や趣向が異なっており、公共交通を利用したり、日本人が行かない場所にも行くため、想定していない場所で混雑が発生する可能性もある。多言語対応だけでなく、もう少し踏み込んだ検討や、考え方だけでも載せるべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外国人については携帯電話の位置情報で調査しており、多くの国から来訪者がある。今後も増えていくことが予想されるので、外国人の手段や趣向についても記載を検討したい。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が運転するレンタカーの事故について話題にせざるを得ない状況であれば、言及すべきである。道の作り方や標識にも反映される。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ネットワークの周遊を考えたときに、鉄道は基本になると考えられる。鉄道は各市町の基幹軸としての役割を果たしているだけでなく、観光としても中心的な役割を果たす。 ・鉄道がどのような使われ方をしているのか、PT 調査では域内だけになるが、別途、公共交通のアンケートや鉄道利用のアンケート、観光や交通に関するアンケートを通して、観光周遊や観光にどのくらい使われているかを示して、観光 2 次交通での公共交通の必要性を示してはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地までの主な交通手段では、8 割近くが自家用車を利用している。なお、調査に外国人は含まれておらず、鉄道利用が多いと考えられる。
柳沢委員 (長野高専)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人属性は確認できているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地での聞き取り調査であるため、サンプルが少なく、外国人を対象にしていない。
益山委員 (松本大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光調査は観光地に来た人を対象にしているため、観光地で集計すると車の利用が多くなる。 ・長野駅前での調査などでは、駅を中心として考えると鉄道利用による観光も多いと考えられる。観光部局で資料を持っていないか。 ・観光目的では、「その他」が占める割合が多いので、その内訳もみる必要がある。観光行動は消費行動であるため、長野に来た人がどのくらいお金を消費している場所に行っているかを考えた場合、長野市内の街歩きは外せない。もしかしたら、善光寺に行く途中で、どこかへ寄って消費行動を

	<p>していると思われる。まち歩きをしている人が駅からどのようなルートで移動しているのかを今後調査することも考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、観光の目的では「美術館」が異様に低い。美術館は建て替えをしており、善光寺の2021年の御開帳にあわせて開館することを考えれば、善光寺+美術館および市内の美術館だけでなく、アートを視点とした人の動きを想定した検討もあって良いと考える。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・有名観光地でヒアリングをすると車利用が多くなる傾向にある。温泉旅館へ行き、おいしいものを食べて帰るといった人もいるが、そういう人はアンケートの対象にならない。観光や高齢化、外国人等を考慮すると、観光ネットワークも公共交通が大事ということは記載してもらいたい。 ・全体を通して何か意見はあるか。
井原委員 (長野電鉄)	<ul style="list-style-type: none"> ・p31の主要交通施策について、ダイヤの工夫とあるが、バスが対象という認識で良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
井原委員 (長野電鉄)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体が市町、交通事業者とあるが、どのようなイメージで進めていけば良いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・推進の体制の話になるが、主体となる団体を想定して記載はしているが、別途、推進体制の中で言及する。
井原委員 (長野電鉄)	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー、ユニバーサルデザインによる施設整備とあるが、鉄道以外の市町村が管理する場所を示しているという理解で良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通や道路など、もろもろ含めて言及している。
井原委員 (長野電鉄)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者が管理する駅の中は含まれていないという理解で良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体の表現は再考する。
越智委員代理 (国交省)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回委員会時に、PT調査をもっと活用してもらいたいと発言したため、工夫が見られる。自動車の送迎とあるが、本章の調査では同乗と表現するが、自動車の分けをして分析している良い。 ・送迎の利用者は80歳以上の高齢者が23.3%で通常の自動車利用が45.2%とあるが、イメージと異なる。送迎は高齢者になればなるほど高くなり、高齢者の男女差も激しく、高齢者の女性はほとんどが送迎となっていると想定される。今後、そのような視点でも注視してもらい、整理してもらえれば、全国PT調査との比較もできる。 ・長野県のバスロケシステムの導入というニュースがあったが、PT調査に先駆けて取り組みをされている。長野市はポテンシャルが高いため、そのことも言及すると良い。 ・資産(ストック)を活用し、拠点とネットワークからなるまちへ変えるについて、丹波島橋や構想路線と具体的に書いてあるところと、後半は幹線道路の整備という漠然とした書きぶりをしているところもある。各市町がPT調査の結果を受けてどのようなことをしたいのか、どのように考えているのかも、具体的な路線を含めて記載できると、長野都市圏の色が出て良い。
高瀬委員 (信州大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケについて、生活交通、観光交通を検討している。そのような話も記載することでアクションを起こしやすくなると思う。
藤居委員 (信州大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種計画への反映について、土地利用の計画と連携する部分が多い交通計画であるため、拠点の中に、どの程度反映されるのか、また、まちなかについてもトランジットモールにも土地利用が関連、地元とも関係している。どの程度反映しているのか教えてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ具体的には示せる状況になっていない。次回、反映した結果等を示していきたい。
久保田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に話をした計画の根底の記載について、本日3つの柱それぞれについて意見を頂戴したが、もう少し柱を意識した表現で良いと考える。次回はこの柱を意識した案としてもらいたい。

	・次回までのスケジュールはどのようになっているか。
事務局	・福祉など、これまで長野都市圏で拾えなかった項目も含め、様々な視点が出た。次回は6月として、その間に一般の方にも意見をもらうことも予定している。 ・事務局としては、本日の意見を受けて修正した案は久保田委員長と柳沢委員と調整して資料を作成したい。
久保田 委員長	・パブコメは私と柳沢委員で調整して実施で良いか。
全員	・了承

3. その他

事務局	・追加意見がある場合は、2月16日(金)を目途に別紙の意見要旨を提出してもらいたい。
-----	--

4. 閉 会

以上